

CONVO

コンボ communication MIVO voluntary

ボランティア・市民活動情報誌

2021

10

月号

vol. 260

特集

豊かなまちづくりのために、
いま、ボランティア・市民活動を考える！

Theme.4

今を“チャンス”と捉えて

新たな価値観と動き方を身に付ける

- 6 新たな拠点でコミュニケーションを深め
障がいのあるこどもを地域で助け合い、育てる。
輪母(わはは)ネットワーク

- 8 地域と共に、暮らしを支え、課題を解決するために
～区社協コーディネート業務担当者研修報告～



Theme. 4

今を“チャンス”と捉えて 新たな価値観と動き方を身に付ける

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座談会はオンラインで行いました。

今日、ボランティア・市民活動は、福祉分野を中心に、教育・文化、環境保全、災害支援、地域安全、まちづくり、人権擁護、国際協力など多様な分野に広がりを見せています。

大阪市内24区にもボランティア・市民活動センターが設置され、それぞれの地域で様々な活動が展開されています。

今年度は毎号、座談会の様子から各区ボランティア・市民活動センターの活動や担当者の想いをお届けします。

今号では生野区ボランティア・市民活動センター原友美子さん、鶴見区ボランティア・市民活動センター奥村京子さんと安藤美希さん、住之江区ボランティア・市民活動センター谷口文香さん、大阪市ボランティア・市民活動センター上野谷加代子所長との座談会から、各区で取り組まれている活動を紹介します。

トークセッション ボランティア・市民活動センターの仕事



豊かなまちづくりのために、いま、
ボランティア・市民活動を考える

コロナ禍で分かれた ボランティアグループの活動

上野谷 現在、コロナ禍にあつて、ボランティア・市民活動センターとして、とても活動しにくい状況にあると思います。今日は皆さんと悩みや課題を共有したり、あるいは他区の話聞くことで、解決に向かって一歩でも二歩でも前進をしたいと思っておりますので、よろしく願います。

原 生野区社協の原です。今日はよろしく願います。

生野区ボランティア・市民活動センターは、特別養護老人ホームと合築した区社協内にあり、コロナ禍



各区社協からの報告に聞き入る上野谷所長



生野区社会福祉協議会陰山主査(右)とコーディネーターの原さん

での不特定多数の人の来所を避けるため、ボランティアルームの利用を停止していました。そのため、ボランティアの皆さんと少し距離ができてしまったと思います、ボランティアの皆さんに現在の活動の状況などを聞くために、アンケートを取りました。

奥村 鶴見区社協の奥村です。よろしく願います。

鶴見区では、コロナ禍だからこそできる活動があるのではないかと考え、ボランティアグループの定例会などに足を運び、ヒアリング調査を実施しました。

ヒアリング調査では、コロナ禍でも、しっかりと想いを持って継続しているグループと、コロナ禍で活動を停止せざるを得ない状況でモチベーションが下がってしまったグループに分かれていました。そこで、少しでもモチベーションを高めてもらおうと、年に4回発行している『輝け！つるボラ通信』の中で、コロナ禍での活動の工夫や想いを紹介しました。



鶴見区社会福祉協議会松本主査(右)とコーディネーターの奥村さん(中央)、安藤さん(左)

例えば、視覚障がいのある人へ毎月情報を届けている朗読グループは、緊急事態宣言が出されても、「絶対に情報を届けるんだ」という強い

想いをもって、これまでのように全員で録音するのではなく、密を避け、ひとりずつ時間を区切って録音するという工夫をして活動を継続していました。

安藤 同じく安藤と申します。よろしく願います。

私はシニア世代のボランティア支援と発掘をしています。60歳以上の男性17人で野菜を栽培している、鶴見区シニアボランティア『アグリ』もコロナ禍でも活動を続けています。頑張っている子ども食堂に野菜を提供するため、「植える時期を逃すと野菜は実らない。だから僕たちも続けていこう」と、炎天下でもマスクを付け、熱中症予防のために水分補給しながら活動を続けています。

谷口 住之江区社協の谷口です。よろしく願います。

昨年度は、ボランティアに、自分が新しく担当になったということ伝える手立てがないという状態でした。しかし、昨年7月、コロナが一旦落ち着いた時期にようやくボランティアグループの交流会を開催でき、ボランティアの皆さんにご挨拶と、コロナ禍で困っていることなど、話し合える機会が持てました。



住之江区社会福祉協議会椎原主査(左)とコーディネーターの谷口さん

交流会に参加したパフォーマンス系のボランティアグループからは、活動先である施設の受け入れがストップし、活動ができていないという声が多く挙がりました。しかしその一方で、メンバー同士の繋がりを絶やさないために定期的に連絡を取り合ったり、いつコロナが収まってもすぐに活動できるように自宅練習をするなど、センターの中にいるだけでは把握できない情報をリアルに聞けたことはとても良かったと思います。また、メンバーの高齢化やグルー

プ活動のPR方法が今後の課題だと話されるグループもありました。

原 生野区では、コロナ禍のボランティアグループの活動場所を見つけないという思いから、区で発行している冊子『いくのでいこう』に、ボランティアグループに協力してもらいながら、ハンドセラピーの方法など、コロナ禍でのおうち時間を楽しく過ごしてもらえようの特集を企画しました。



おうち時間の楽しみ方を、ボランティアと一緒に企画 (生野区)

谷口 ボランティア・市民活動センターには、コロナ禍でもボランティアを始めてみたいと相談に来所する人も多く、「どんな活動があるのか」「何から始めたらいいのかわからない」という声もよく聞きます。

しかし、私の経験不足もあり、うまく説明できませんでした。そこで、住之江区内のボランティア活動の情報をベースにした『ボランティアガイド』という冊子を作りました。私自身も、これに沿って説明できるようにになりましたし、ボランティア活動に興味のある人に活用してもらえるツールになっています。



ボランティアの入口を広げる、ガイド冊子や広報紙を作成(住之江区)

**固定概念から脱却し
柔軟にニーズに合わせて動ける
コーディネーターへ**

奥村 ボランティアグループの活動をサポートしながらも、多くのグループが活動休止や縮小しているという現実が変わらず、このままグ

ループが衰退する、活動が中止してしまうという恐れも非常に感じています。そこで、昨年度からはつながりの再構築を目指し、ボランティア向けの研修会を開催しました。

今年度は、活動場所がないパフォーマンスグループに集まってもらい、発表会を行って、オンラインで施設の利用者にも見てもらおうと考えていますが、コロナ禍で人をたくさん集めることはどうなのかと悩んでいます。

上野谷 コロナ禍でボランティアもやりたいことがやれない。パフォーマンスグループは特にそうですね。

コロナについては正しく恐れる練習をしましょう。そうしないと、いつまでたっても何もできませんよね。そのうえでボランティア活動が早くできるよう、ゴールに向かって段階的に何をするのかを提案していきましょう。それから、たくさん人を集めるという発想から脱却しましょう。社会福祉は一人ひとりを見て、喜ばれたのか、悲しまれたのか、その手ごたえで評価するという価値観を身に付けていきましょう。

メンバーの高齢化について、皆さんはよく悩んでいるけれど、ボランティアグループというのは、常に発

展し、消滅します。だから、高齢化し、グループが続かないというのを嘆かないでほしいと思います。その代わり、私たちは小中学校への福祉教育をしつかりと推進していくことが大切ですよ。

では最後に、皆さんに一言ずつ夢を語っていただきますでしょうか。



登録ボランティアに呼びかけて開催されたボランティア研修会（鶴見区）

原 今後は講座などでオンラインの活用もしていきたいと思っています。今、スマホボランティア講座の活動を考えているグループがあります。そのグループに活躍していただいて、さまざまなつながりが生まれてくれればと考えています。

あと、初めてボランティア・市民活動センターに来た人に、こんな場所があるんだな。面白いなと思ってもらえるような、こどもたちも入りやすく区民に開かれた場所づくりをしていきたいと思っています。

現在、ボランティア活動に必要なことを調べてもらうために、パソコンを設置していますが、さらにハード面も整備したいです。ボランティア・市民活動センターは、社会福祉協議会内にあります。社会福祉の理解・啓発など、いろいろな活用ができる場所だと思うので、大きな夢ではありますが、コツコツと進めていきたいと考えています。

奥村 鶴見区には鶴見緑地という大きな公園があり、『Parkrun』という世界共通のイベントが毎週土曜日に、鶴見緑地でも開催されることが決定しました。主催者からボランティアの依頼があり、現在、希望者を募っています。実際にボランティア希望の声も多く、このイベントによる新たなつながりも、その後のボランティア活動に生かせるのではと期待しています。

また、ボランティアの皆さんを対象にオンライン研修会を開催したいと思っています。メンバー同士で集まることができなくても、オンラインでつながってもらい、それぞれのグループ活動に活かしてもらいたいと考えています。パフォーマンスボランティアの、元気な姿が見られる発表会もぜひ企画したいです。

谷口 ボランティア・市民活動センターが、区民の人にとって、ふらつと寄つて、ふらつと帰つていけるような場所になればいいなと思っています。また、区民の皆さんのボランティアへの関心度を上げるために、①まず情報が目に留まる、②目に留まった人は自ら情報を探しに動く、③続いて行動を起こせる、というイメージで、関心度の底上げができる仕組みが作れたらいいなと思っています。

上野谷 ボランティアコーディネーターはこうでなきゃだめ、という概念から解放されましょう。私たちは市民のニーズに合わせて動くのですから。可能な限り市民に寄り添わないといけませんね。

ボランティア活動というのは開拓です。特にこのコロナ禍では、いつもなら正しいと言われる方法を取らなくてもいいというチャンスです。正しく恐れながら、感染予防対策をきちんとしたうえで活動してもらいたいと思います。

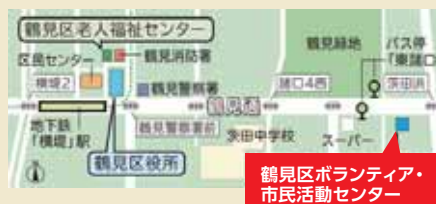
生野区ボランティア・市民活動センター

〒544-0033 生野区勝山北3-13-20
HP <https://ikunoku-shakyo.jp>
TEL 06-6712-3101 FAX 06-6712-3001
利用可能時間 月～金9時～19時 土9時～17時30分
休館日 日曜・祝日・年末年始



鶴見区ボランティア・市民活動センター

〒538-0051 鶴見区諸口5-浜6-12
HP www.tsurumi-kushakyo.or.jp
TEL 06-6913-7070 FAX 06-6913-7676
利用可能時間 月～土9時30分～17時
休館日 日曜・祝日・年末年始



住之江区ボランティア・市民活動センター

〒559-0013 住之江区御先4-6-10
HP www.saza73.jp
TEL 06-6686-2234 FAX 06-6686-0400
利用可能時間 月～土9時～17時30分
休館日 日曜・祝日・年末年始



第7期

ときどき“記者” よーせーこーぞ

受講者募集

定員
15人
(先着順)

参加費
無料
(全2回)

市民ボランティア記者としての必要な基礎知識や取材時に必要なスキル、読者の心に届く表現の仕方・工夫などを学ぶプログラム。受講後、情報誌『COMVO』で活動できます！



日時 **11月8日(月)、11月15日(月)**
いずれも午後6時00分から8時00分まで ※2回連続講座

会場 **ZOOMによるオンライン開催**

対象 市内のボランティア・市民活動に興味があり、『情報誌COMVO』の記者として活動できる人

11月8日(月)

五感で聞きだすエピソード

内容 インタビューやコミュニケーションの中で、五感を使って、活動者や参加者の思いを聞き出すコツを学びます。

11月15日(月)

情報を絞り込む方法

内容 たくさんの取材ネタの中から情報を絞り込み、大切なエピソードを読者に伝える文章の書き方を学びます。

講師

朝日恵子さん(フリーライター)……ライター歴20年以上。社会派情報誌を中心に取材・執筆。だれもが自分の想いや価値観を楽しく表現できるよう、ラクに書ける「楽書きメソッド」開発中。

主催 大阪市ボランティア・市民活動センター

申込み・問合せ 大阪市ボランティア・市民活動センター(P.14参考)

※名前、住所、連絡先、志望理由を添えて、TEL、FAX、右の申し込みフォームのいずれかにてお申込みください。
※参加者には後日、参加に必要なURLをメールでお送りします。

申し込みフォーム



※ 令和3年度大阪市ボランティア活動振興基金 チャレンジ支援交付団体へ突撃取材

※新たな福祉課題解決に向けて、主体的かつ積極的に福祉ボランティア活動の推進に取り組む事業支援

新たな拠点でコミュニケーションを深め

障がいのある子どもを地域で助け合い、育てる。

輪母ネットワーク

『輪母ネットワーク』は、生野区周辺で暮らす、障がいのある子どもを持つ11人の母親によって2006年にスタートした団体です。障がいがあっても安心して通える理髪店やクリニックなどの身近な情報交換をはじめ、進学や子どもの問題行動についてなど、親として不安に感じ



地域の民家を借りてオープンした「わははハウス」



連日、多くの会員たちが訪れる「わははハウス」のコミュニティスペース

ていることをお互いに話せる場として、また、自分たちの経験がピアカウンセリングとなり、福祉制度や施設などの情報を提供できる場として会合を行っていました。

他にも、重度の障がいにより医療的ケアが必要な子どもを持つ家族と支援者が集う「つながりサロン」、保護者とともに不登校やひきこもりの支援を考える「ぼちぼちサロン」を定期開催し、個別相談も行っています。さらに東日本大震災



「輪母ネットワーク」役員メンバーの皆さん。前列中央が代表の吉田琴美さん

のような大災害が起きた時のために、障がいのある人とその家族の防災を考えるワークブックを2017年に制作。セミナーやイベントで防災についての啓発活動を行い、高齢者や乳幼児のいる家族にも共通する課題であることを提案してきました。

そんな活動の積み重ねによって、輪母ネットワークのメンバーは現在100家族を超え、行政・福祉事業所・各種非営利団体とも連携。障がいのある子どもたちの医療・進学・就労・制度など、相談内容に応じて行政窓口や支援機関・団体につなげることでできる中間支援グループとしても、多くの人に頼られる存在となりました。

しかし、昨年から新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで活動に利用していた公共施設の利用が難しい状況になったため、苦境に背中を押されるかたちで大阪市ボランティア活動振興基金を

申請。チャレンジ支援助成を受け、今年の7月、生野区勝山北地域に念願の活動拠点となる「わははハウス」を開設しました。

「拠点ができたことで、皆さんに、いつでも訪ねていけるという安心感を持つてもらえるようになりました。今後はこの場所から、障がいのある子どもたちの親なき後のサポート体制づくりも進めていく予定です。『わははハウス』の近くには、福祉や子育て支援の活動グループが多くあるので、これまで以上に連携を深めて、子どもたちの居場所づくりや、日本に居住されている外国籍の障がいのある子どもの家族の支援にも取り組みたいと思います」と、代表の吉田琴美さん。

昔ながらの民家が並び、隣近所のお付き合いも色濃く残る町・生野で、「わははハウス」は地域の人々のつながりをますます深め育む拠点となっていくそうです。



避難や行動、備蓄品などの知恵が詰まった『障がいのある人とその家族の防災ワークブック』

問合せ

輪母ネットワーク
TEL.06-6796-8649
Eメール info@wahaha-network.com
https://wahaha-network.com/

心と心をつなぐ赤い羽根



大阪芸術大学 デザイン学科 山口 泉香



今こそ福祉に支援の手を！

赤い羽根共同募金

10月から始まる共同募金にご協力よろしくお願いします

スマホからも募金できます！



共同募金は、誰でも、いつでも、どこでも、生涯参加できるボランティア活動です。
私も子供の頃は、小銭を貯めて募金をした思い出があります。
一人ひとりの市民が少しずつ思いをカタチにして、支え合う「寄付文化」を創りましょう。

大阪市ボランティア・市民活動センター所長
上野谷 加代子

地域と共に、暮らしを支え、課題を解決するために

区社協コーディネーター業務担当者研修報告

8月19日、大阪市内の区社会福祉協議会(区社協)の職員を対象に、ボランティアコーディネーター力を養うことを目的とした研修会を開催しました。今回は、北御堂(浄土真宗本願寺派本願寺津村別院)から『津村ホール』を会場として提供いただき、各区から35人のコーディネーター業務担当者が参加。6つのグループに分かれ、各ボランティアセンターの活動状況などを報告



広々とした北御堂『津村ホール』で密を避けて開催



グループワークで活発に意見を交換

し合う
と、会場
内は一気
に和やか
な雰囲気
に。コロナ禍での
課題に深く
傾いた
り、他区
の活動報
告をメモ
に取る姿

も多くみられました。

市ボランティア・市民活動センター
上野谷加代子所長による講義『ボラン

ティア活動・市民活動の展望』では、「広域にわたるニーズをキャッチして、ボランティアとしてできることを常にイメージ化しておくこと」「イメージの実現に向けて、法律や政策を勉強すること」など、アフターコロナを見据えた力強い言葉に全員が聞き入っていました。

6つの相談事例から対応策を考えるグループワークでは、各グループが選択した事例について、これまでの経験や、新たなアイデアなどを織り交ぜながら活発な議論が行われました。そして、ロールプレイングも交えながら、それぞれの対応策を発表。決定に至るまでのプロセスも伝えられ、ボランティアコーディネーターとしての多様な考え方を共有しました。

また、ある事例をもとにコーディネーターの意味を考えるグループワークでは、ボランティアを求める側と行う側を対等につなぐことの大切さが浮き彫りに。双方の思いをくみ取るた



ユーモアを交えて参加者と意見を交わす
上野谷加代子所長



グループで導いた対応策をロールプレイングで発表

めのコミュニケーションの重要性を改めて感じることができました。

最後に、参加者からは「止まることなくコロナ禍の中で何ができるかを考えたい」「今後、各区社協と顔の見える関係性をつくっていききたい」など、前向きな声が多く聞かれ、参加者にとって実りの多い一日となりました。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて実施しました。

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



ボランティア
募集などの情報



イベント・講座・
セミナーなどの情報



その他、助成金
などの情報

情報マーケット掲載団体に 問合せするのに便利なQRコード

- 1 気になる情報があれば、スマホで
下記QRコードをQRコードリーダー
で読み取る
- 2 掲載団体の情報一覧を
ダウンロード!!
- 3 問合せ先、
団体ホームページなどに
アクセスできます!



④もっと知りたい「すみよっさん」、初めての「すみよっさん」

NPO法人 大阪ウォーク・トーク

<https://osakawalktalk.org/>

知っているようで知らない、すみよっさんの境内をゆっくり回りながら、歴史・文化・
謂れなどのお話を楽しみませんか。

日 程 10/5(火) 10:00~12:00

場 所 住吉公園前交番 前集合(住之江区浜口東1-1-13)
南海電鉄「住吉大社」駅前
阪堺電鉄「住吉鳥居前」駅から西へ300m

人数・条件 どなたでも 参加費:500円(ガイド料、資料・保険代込)

申込方法 Eメール・HP 締切:10/3(日)

問合せ▶ Eメール osaka.walktalk@gmail.com (担当:山内)

⑤第25回チャリティコンサート チキンガーリックステーキ アカペラコンサート

社会福祉法人 関西いのちの電話

<http://kaindnew.com>

日本初のアカペラグループとして、多くの人々を魅了し続けているチキンガーリック
ステーキをお迎え。関西いのちの電話の活動をご支援いただくことを目的とした
チャリティコンサートです。

日 程 10/16(土) 13:30開場 14:00開演

場 所 豊中市立文化芸術センター大ホール(豊中市曽根東町3-7-2)
阪急電車「曽根」駅から徒歩5分

人数・条件 指定席・自由席ともに、前売券3,500円(当日券4,000円)
※指定席券は、チケットぴあでの取り扱いとなります。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ 関西いのちの電話事務局

TEL/06-6308-6868 FAX/06-6308-6180

Eメール kaind@x.age.ne.jp (担当:石井)

⑥天文宇宙講演 『太陽系ミステリー 水星、金星、地球、火星の誕生に迫る』

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

惑星はどのように誕生したのか?地球と火星の水はどこから来たのか?コンピュー
タシミュレーションを用いて惑星の誕生を明らかにします。

日 程 10/24(日) 14:00~16:15

場 所 大阪市立難波市民学習センター(浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階)
JR「難波」駅直結

人数・条件 どなたでも 定員:29名(申込多数の場合は抽選) 参加費:無料

申込方法 ホームページ 締切:10/16(土)

問合せ▶ Eメール k337yjunamg@gmail.com (担当:モミヤマ)

①大阪マラソン2022年 ボランティア募集!!

大阪マラソン組織委員会

<https://www.osaka-marathon.com/2022/volunteer/personal/>

いまこそ、あなたの力が、ランナーの力に、大阪の力になる。

国内最大級の市民マラソンを支える一万人のボランティアを大募集!

日 程 [大会当日]2022/2/27(日)
[事前準備・受付等] 2022/2/24(木)~2/26(土)
※申込時に参加希望日時をお伺いします

場 所 大阪城公園、大阪マラソンコース沿道など
(大阪市中央区大阪城、ほか大阪市内各所)

人数・条件 10,000人(先着順) 活動日の時点で12歳以上の人
(※小学生不可、中学生は20歳以上の同伴者が必要)

申込方法 HP・郵便

問合せ▶ 大阪マラソンボランティアセンター

TEL/06-6614-6677 Eメール center@vo-osaka-m.com

②天王寺区の緑を守ろう! ~街路樹や公園樹をササから守る活動に参加しませんか~

天王寺区グリーンキーパーズ

ササの繁殖による樹木の衰弱や枯死を防ぐために、谷町筋や生玉公園
でササ刈りや樹木の手入れの活動を行っています。興味のある人はぜひ
ご参加ください。

日 程 10/7、11/4ほか毎月第1木曜日(※雨天時は翌日の金曜日) 10:00~12:00

集合場所 天王寺区社会福祉協議会玄関前(天王寺区六万代町5-26)
地下鉄「四天王寺前」駅3番出口から徒歩2分 9:45集合

人数・条件 どなたでも 作業のできる服装(長袖・長ズボン・帽子)でご参加ください

申込方法 電話(※下記 問合せ先まで)

問合せ▶ TEL/06-6774-3377

(担当:天王寺区社会福祉協議会 荒野)

③福祉農園「life farm」第1期ボランティア募集

特定非営利活動法人 MSISK

<https://www.msisk.net>

畑の管理をしたり、子どもや高齢者の方と一緒に農業体験したりしませんか?

日 程 毎月2回以上
※日程はお申し込みいただいてから連絡調整を行います。お気軽にお問い合わせください。

場 所 MSISK矢田7農園(東住吉区矢田7丁目6-29)
近鉄大阪線「河内天美」駅から徒歩16分
シティバス「公園南矢田4丁目」から徒歩13分

人数・条件 どなたでも 定員5名 ※先着順
※自動車(駐車1台)・バイク(駐輪5台)通所可

申込方法 電話・Eメール・郵便・来所

問合せ▶ 〒546-0014 大阪市東住吉区鷹3丁目8-17

TEL/06-7505-4435 Eメール info@msisk.jp (担当:岩崎)

⑪新時代の学びと“これからの子どもたち”の育て方 ～世田谷区立桜丘中学校で大切にしてきたこと～

あべの不登校児・軽度発達障がい児支援グループ「スペースゆう」
http://freespaceu.g2.xrea.com/

前世田谷区立桜丘中の校長・西郷孝彦氏をお招きして、学校教育のもと不登校やいじめ、自殺などが起きていることから改めて教育とは何かを考えます。

日 程 9/26(日) 13:30～16:00

場 所 阿倍野市民学習センター第2研修室
(阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのペルタ3F)
地下鉄「阿倍野」駅 7番出口から徒歩1分
JR「天王寺」駅 中央口改札から徒歩8分

人数・条件 どなたでも 定員25人(先着順)

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/090-6753-8013
Eメール freespace_u@yahoo.co.jp (担当:中室)

⑫点訳ボランティア養成講座

生野点訳サークル

点訳を基礎から学び、受講修了後点訳ボランティアとして活動していただける方を募集しています。(講習内容:点訳の基礎・パソコン点訳・講演会)

日 程 10/16～令和4年2/12までの毎週土曜日 18:30～20:30
全17回、※1/1(土・祝)は休講

場 所 生野区民センター(生野区勝山北3-13-30)
JR「桃谷」駅から徒歩約15分

人数・条件 どなたでも 定員15人(先着順)
参加費:1,400円(「点訳のてびき」をお持ちの方は受講料無料)

申込方法 電話・FAX・郵便(※下記問合先まで) ※定員になり次第締切

問合せ▶ 生野区社会福祉協議会
〒544-0033 大阪市生野区勝山北3-13-20(地域支援担当)
TEL/06-6712-3101 FAX/06-6712-3001

⑬『90分 de こそだてREAL』参加者募集!

社会福祉法人 大阪ボランティア協会

https://www.osakavol.org/

当事者から話を聞き、大阪のREAL(リアル/現実)を体感する新企画。
第1回は辻由起子さんから「上手に完璧に子育てしろ」なんて無理!なお話を聞きます。

日 程 10/30(土) 19:00～20:30 ※放課後タイム30分あり

場 所 オンライン開催(Zoom使用)
※参加URLは、申込者に開催前日までに連絡します。

人数・条件 10人(先着順、大阪市内在住・在学・在勤者優先) 参加費:無料

申込方法 ホームページ 締切:10/28(木) ※定員になり次第締切

問合せ▶ TEL/06-6809-4901 FAX/06-6809-4902
Eメール ichii@osakavol.org (担当:市居)

⑭雇われない働き方

クレオ大阪子育て館

https://www.creo-osaka.or.jp/north/

フリーランスとして自律的に働くための心構えや法律知識を学び、子育てをしながら活躍するクリエイターの話から、雇われない生き方働き方を考えます。(一時保育・手話通訳あり※要事前申込)

日 程 ①9/30(木)、②10/7(木)、③10/14(木)
①②13:30～15:00
③13:00～15:30
※③のみ単発受講も可

場 所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20)
地下鉄「天神橋筋六丁目」駅3番出口から連絡

人数・条件 定員30人(申込先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・ホームページ・来所

問合せ▶ 〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20
TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277
Eメール info@osaka-kosodate.net (担当:岸上)

⑦十八番語り

なにわ語り部の会

日本や世界の昔話、民話、童話…。一緒にお話の世界を楽しみませんか?

日 程 10/24(日) 13:30～15:45

場 所 大阪市中央公会堂(北区中之島1-1-27)
地下鉄「淀屋橋」駅1番出口から徒歩約5分
京阪電車「なにわ橋」駅1番出口から徒歩約1分

人数・条件 定員40人(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL・FAX/06-6900-0850
Eメール r.yasuoka0508@gmail.com (担当:安岡)

⑧子育て支援ボランティア&ファミリー・サポートセンター提供会員講座

中央区子ども・子育てプラザ

http://www.osaka-kosodate.net/plaza/chuo/

イベントなどで子どもの見守りや一緒に遊ぶボランティア活動についての全5回講座です。子どもを預かる提供会員としても登録いただけます。

日 程 ①10/5(火)、②10/12(火)、③10/19(火)、④10/21(木)、⑤10/26(火)
①10:00～12:00、②13:30～16:15、③9:30～14:30、④9:30～16:00、
⑤9:30～12:00

場 所 中央区子ども・子育てプラザ(中央区島之内2-12-6)
地下鉄「長堀橋」駅7番出口から徒歩7分

人数・条件 市内在住で、中央区内でボランティア活動ができる人
定員10人(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話 締切:9/28(火)

問合せ▶ TEL/06-6213-2171 FAX/06-6213-2639
(担当:金岡)

⑨認知症移動支援ボランティア育成講座

認知症の人と家族の会 大阪府支部

https://www.alz-osaka.net/

認知症の人と一緒に出かけしてくれるボランティア養成講座の第二回目を開講します。あなたの参加を待っています。

日 程 講義/9/25(土)10:00～18:00、9/26(日)10:00～17:00
実習/2021年10月～2022年1月 報告会 2022年1月末予定

場 所 ドーンセンター 5階特別会議室(中央大手前1-3-49)
地下鉄「天満橋」駅 1番出口から東へ徒歩5分

人数・条件 15歳以上の人 定員80人(先着順)
参加費:無料

申込方法 HP

問合せ▶ Eメール alzheimers-osaka@eco.ocn.ne.jp (担当:神垣)

⑩令和4年度 大阪区民カレッジ受講生募集案内

大阪区民カレッジ

https://www.osakakumin.org/

地元の歴史、伝統、文化と現状を学び地域社会との交流を深め、心身ともに健康なカレッジ生活を目指します。

日 程 令和4年4月開校 授業数:年間24回
原則月曜日 10:00～15:00

場 所 大阪市立中央区民センター(中央区久太郎町) 他市内6校
地下鉄「堺筋本町」駅3番出口から徒歩2分 ほか

人数・条件 健康で全期間を通じて受講できる人
定員:各校40人 募集期間:10/1(金)→10/11(月・祝)
受講料:29,000円(年間)

申込方法 郵便・HP・来所

問合せ▶ 大阪市教育会館 〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35
TEL/06-6947-2710 FAX/06-6360-4410



①『阪急阪神 未来のゆめ・まち基金』第13回助成プログラム

阪急阪神ホールディングスグループ

http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin

阪急阪神沿線に特化した市民団体助成プログラムです。助成金は使途自由で、運営資金にも利用可能。団体の活動やその広報もお手伝いします。

募集分野 【部門A】「地域環境づくり」

地域コミュニティが環境に配慮し発展する、持続可能なまちづくり

【部門B】「次世代の育成」

未来を担う子どもたちが、夢を持ち、健やかに成長する機会づくり

助成額 【部門A】1団体あたり50万円(10団体程度)

【部門B】1団体あたり100万円(6団体程度)

応募資格 阪急阪神沿線を活動フィールドとし、募集分野における活動実績が3年以上ある非営利の市民団体など(詳細は募集要項をご確認ください)

応募方法 上記URLで公開している募集説明動画をご確認のうえ、ご応募ください。

応募締切 10/15(金)必着(データ送付)

問合せ・送付先▶ 社会福祉法人 大阪ボランティア協会(担当:市居、江瀬)

TEL/06-6809-4901 FAX/06-6809-4902

問合せフォーム <https://ws.formzu.net/dist/S33509980/>



⑮住み慣れた場所で安心して暮らすために～地域の医療と介護は～

高齢社会をよくする女性の会・大阪

<http://wabas-osaka.life.coocan.jp/>

住み慣れた場所で最期まで暮らし続けるためには何が必要なのか、地域で在宅医療・介護に携わるドクターとケアマネジャーにお話しいただきます。

日程 10/9(土) 13:30～16:00

場所 ドーンセンター(中央区大手前1-3-49)
地下鉄・京阪電車「天満橋」駅1番出口から東へ約350m

人数・条件 定員72人(先着順、コロナの感染状況により半減あり)
参加費:一般1,000円/会員500円

申込方法 FAX・Eメール・ホームページ

問合せ▶ TEL/ 06-6762-0550 FAX/06-6762-0550

Eメール wabas-osaka@mbm.nifty.com (担当:田代)



⑳2022年度ヤマト福祉財団助成金

公益財団法人 ヤマト福祉財団

<https://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy.html>

福祉施設・団体のお手伝いとして、障がいのある人々の給料を増額するための新規事業の立ち上げや生産性向上に必要な設備や機器を購入する資金と、障がいのある人々の福祉を増進するための事業や活動の資金を助成します。

I.障がい者給料増額支援助成金

障がい者の給料増額に努力し取り組む事業所・施設に対し、さらに多くの給料を支払うための事業の資金として助成

助成額 50万円～最大500万円(30件程度)

助成対象事業 ○障がい者の給料増額のモデルとなる効果的な事業

○現在の事業を発展させ給料増額につながる事業

○新規に行い、給料増額が見込まれる具体的な事業

※現在ある備品等の代替費用および材料費等の消耗品は対象になりません

助成対象 就労継続支援 A型事業所・就労継続支援 B型事業所・生活介護事業所・地域活動支援センター ※詳しくはHPをご覧ください

II.障がい者福祉助成金

給料増額にはこだわらず、障がいのある方の幸せにつながる事業・活動に対して助成。福祉事業所に限らずボランティア団体、サークル等、幅広い活動を支援します。

助成額 総額1,000万円(1件あたり最大100万円)

助成対象 1.会議・講演会 2.ボランティア活動 3.スポーツ活動・文化活動
4.調査・研究・出版

応募方法 I、IIそれぞれ必要な書類を揃えて郵送ください。

応募期間 10/1(金)～11/30(火)(※当日消印有効)

問合せ・送付先▶ 公益財団法人 ヤマト福祉財団 助成金事務局

〒104-8125 東京都中央区銀座2-16-10

TEL/03-3248-0691 FAX/03-3542-5165

問合せフォーム

<https://www.yamato-fukushi.jp/form/contact.html>



⑯全国高校生何でも、アリ。Creative Award 2021

秋田公立美術大学

<http://u18cc.jp>

部活でも、遊びでも、研究でも、趣味でも、何でもアリ。コロナ禍の中、あなたが夢中になって取り組んでいる活動を3分以内の動画で表現してください。

対象 高等学校に所属している生徒(年齢不問)。異なる高等学校で構成されたチームでもかまいません。

賞 金賞/30万円+米60kg(1件) 銀賞/5万円(最大5件)

銅賞/1万円(最大10件)

応募方法 HPから応募用紙をダウンロードし、いま夢中になっている活動をまとめた3分以内の動画を添えて、Google Forms、Eメール、郵送のいずれかで応募ください。※詳細はHPをご確認ください。

応募締切 10/22(金)

問合せ▶ NPO法人 アーツセンターあきた

〒010-1632 秋田県秋田市新屋大川町12番3号(秋田公立美術大学 アトリエももさだ内)

TEL/018-888-8137 Eメール info@u18cc.jp (担当:有馬・畠山・田村)



⑰「地域助け合い基金」でコロナ禍を乗り越えて共生社会へ

公益財団法人 さわやか福祉財団

<https://www.sawayakazaidan.or.jp/covid19-donate/>

新型コロナウイルスの感染拡大により、支援が必要な人の地域における孤立はさらに深刻となり、これまでも増して助け合い活動が必要です。そこで、必要な資金を全国からのご寄付として募り、助け合いを行う皆様へお渡しする助成を行います。

対象活動 地域で暮らす人同士の助け合い活動を対象とし、新たに団体を設立する場合のほか、新たに活動を広げる場合やコロナ禍に対応して特別な助け合い活動を行う場合も助成します。

助成対象 法人格の有無は問いません。個人による活動を含む

助成額 具体的に必要とする額(上限は15万円)

応募方法 HPから申込書・誓約書をダウンロードし記入し、添付書類と一緒にメールまたは郵送 ※郵送申請の場合は、必ず電話でご連絡ください。(常時受付)

問合せ▶ 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階

「地域助け合い基金」活用ご相談の専用電話 TEL/080-9277-4174

Eメール mail@sawayakazaidan.or.jp(応募書類の送付先アドレスとは異なります)



⑱2021年度 社会福祉事業 NPO基盤強化資金助成

公益財団法人 SOMPO福祉財団

<https://www.sompo-wf.org/jyosei/>

福祉および文化の向上に資することを目的に、主として障がい児・者、高齢者などを対象として活動するNPOを支援し、A.「組織の基盤強化」、B.「認定NPO法人の取得」に必要な資金を助成します。※助成対象等、詳細はHPをご覧ください。

助成額 A. NPO基盤強化資金助成(組織および事業活動の強化資金助成)

1団体あたり上限70万円(総額1,000万円予定) ※西日本地区募集

B. 認定NPO法人取得資金助成

1団体あたり30万円(総額450万円予定) ※全国募集

応募方法 HPの申し込みフォームより、必要事項を入力の上、送信してください。

応募締切 ABともに10/8(金) 17時

問合せ▶ 公益財団法人 SOMPO福祉財団事務局

TEL/03-3349-9570 FAX/03-5322-5257

問合せフォーム <https://www.sompo-wf.org/contact.html>

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。



必ず参加前に連絡して確認をお願いします

教えて、おくばっくん! NPOってなあに?

Vol.5



NPO (Non-Profit Organization)

直訳すると「民間非営利組織」。継続的・自発的に社会の課題解決を行う、使命（ミッション）・目的を持った団体であることが意味づけられています。NPO法にもとづいてNPO法人格を取得した団体が「NPO法人」です。

Q NPO法人として活動を始めるとき、いつから準備を始めたらいでしょうか?

A 申請前の準備にどのくらい時間をかけるかで変わってきますが、設立まで半年間程度は見込んでおいた方が良いでしょう。NPO法人となることを決めたなら、今すぐに準備を始めましょう。

次回につづくボラ!

<NPO法人設立までの流れ>

- 1 中心メンバーで設立発起人会を発足**
定款や団体の活動目的、事業計画・予算を協議し、申請書類の原案を作成します。
- 2 所轄庁に事前相談(※任意)**
※所轄庁に、書類不備等がないよう申請書類の作成内容や手続きの進め方等について相談します。
※法人の主たる事務所の所在地が大阪市内のみの場合は大阪市役所
- 3 設立総会**
設立当初の社員が集まって設立総会を開催し、設立発起人会で決定した内容を承認し、議事録を作成します。
- 4 所轄庁に申請書類を提出**
所轄庁で申請書類が受理されれば、「縦覧」として一般市民に申請内容が公表されます(縦覧期間は2週間)。
- 5 所轄庁から認証を受ける**
申請書が受理されてから2か月と2週間以内に、所轄庁から通知があります。
- 6 法務局で法人登記**
認証を受けてから2週間以内に、法務局で「法人登記」をします。登記申請をした日が、法人の設立日となります。
- 7 所轄庁へ登記完了届を提出**
登記が完了次第、所轄庁に登記完了届を提出し、設立手続きは完了となります。

申請書類の様式は、所轄庁のホームページからダウンロードすることができます。
[設立に関する申請書・届出書のダウンロード(大阪市)]
<https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000208923.html>

ボランティア活動を 長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

- Point 1** 興味や関心がある事からはじめよう!
- Point 2** 活動は余裕をもって、無理をしない!
- Point 3** 約束やルールは必ず守ろう!
- Point 4** 相手や関係者の立場を尊重しよう!
- Point 5** 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 (担当:阪井・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
(例:2021年11月15日発行号(2021年12月号)に掲載希望の場合は2021年9月末まで)



おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。



生徒の思いに寄り添いながら、学び方を教える宇野さん

私は、天王寺区にあるこどもの居場所「みんなで学ぶ教室」で、昨年の

学びの場を、こどもたちに平等に

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.14

秋から学習支援のボランティアをしています。

小さい頃、周りの友達ほとんど塾に通っていましたが、経済的事情もあり私はずっと家で勉強していました。焦りを感じながらも、自分に授業したり、勉強教材をインターネットで探して活用したり、常々楽しんで能動的に勉強しつづけた結果、学年で一番の成績になることができました。

大きくなり、自身が塾講師を経験する中で、塾に通っているから勉強ができるようになるわけではないことに気がきました。教える側に立ち、どうしたら生徒の成績が伸びるのかを考える中で、生徒の「勉強し



大阪教育大学 教育学部
宇野 響(21歳)

プロフィール

所属団体: 学習支援・居場所「みんなで学ぶ教室」
学 年: 4年生
趣 味: 将棋、映画鑑賞、読書

たい!」という気持ちを引き出すことが成功の要因だと気づきました。勉強する意義を伝えたい、やり方を伝えたい、学びの場を平等にこどもたちに与えたいという思いが導いてくれたのか、ちょうどその頃に本教室に出会いました。教室に来るこどもは、事情を抱えながらも勉強したいという気持ちを強く持っているため、私もウキウキしながら彼らをサポートしています。どうしたら自学自習できるようになるかなあ? 勉強を好きになつてくれるかなあ? 教室のメンバーと話し合うのも楽しみの一つです。これからも教室と生徒と共に、学びを大切に成長していきたいと思っています!

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対 象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内 容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当: 阪井・竹澤)

エントリーはこちら ▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXがハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO260号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2021(令和3)年10月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス

大阪市立大学 「金融機関論」の講義に講師を派遣

7月2日、大阪市立大学商学部の「金融機関論」に当金庫職員を講師として派遣し、「地域活性化事業(商店街PLUS事業)」について解説しました。

講義では、商店街の抱える課題や、本事業の成り立ちについて解説した後、地元商店街の活性化、にぎわいの創出に向けた様々なイベントへの支援策について紹介しました。

当金庫はこれまでも、地元大学での寄付講座や中学生の職業体験学習の受け入れなど、教育活動を通じた地域貢献活動を行っており、今後も地元大阪の将来を担う人材の育成に貢献してまいります。



当金庫職員による講義の様子

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年10回発行

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)

■申込方法

下記まで問合せください

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

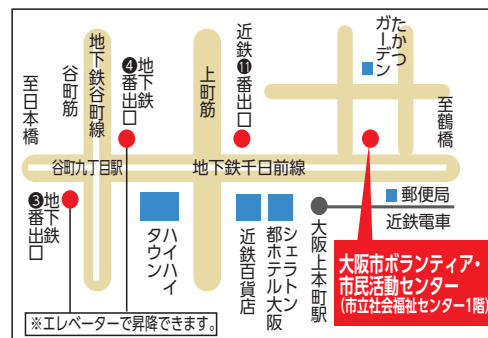
●開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始

●発行日:2021年9月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぽこ・あ・ぽこ

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

Twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで
地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元子どもたちの明るい笑顔を力にして
私たちは、これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0083